



東北学院大学 チャペル ニュース

「新入生歓迎号」

第88号 2004年4月
東北学院大学宗教部
仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
〒980-8511 (022) 264-6428

● 巻頭言 ●

大学礼拝



宗教部長

佐々木 哲夫

大学礼拝は、聖書が神の言葉として公に語られる時であり、また、東北学院大学が神の前で自らの存在の本質的意義を再確認する時です。「礼拝から出発し礼拝に帰る」が東北学院の基本姿勢です。それゆえ、余った時間ではなく一番良い時間を礼拝に捧げています。大学礼拝の概要についてご紹介いたします。

チャイムが一〇時を告げると礼拝堂からオルガン前奏の音が響いてきます。礼拝堂の前列から順に着席して下さい。毎日行われている礼拝の始まりです。心を静め礼拝司会者の言葉に耳を傾けましょう。

● **〈讃美歌〉** 礼拝参加者（会衆）が讃美歌を歌うようになった



泉キャンパス礼拝堂

● **〈聖書〉** 聖書の構成は、前半四分の三が旧約聖書、後半四分の一が新約聖書です。それぞれに頁数が付されており、その場で、例えば、五〇頁の場合、旧約聖書か新約聖書かを指定しなければなりません。旧約聖書の原語はヘブル語、新約聖書はギリシャ語です。諸国の言葉に訳され、礼拝に使用されるようになったのは、宗教改革以降のことです。日本語訳の聖書の普及は最近のことです。

● **〈説教〉** 神の言葉がこの世に対して公に宣言される時です。話し手の経験や思想を披露する講演とは根本的に違います。聖書の言葉は、歩むべき道を照らします

● **〈祈り〉** 礼拝司会者は、説教の言葉だけでなく、神の恵みや平安や祝福を執り成します。祈りの最後の「アーメン」は、英語やギリシャ語やヘブル語に共通して見いだされる言葉で「真実で確かです」の意味です。祈りを共有するしるしとして、会衆の皆さんも最後に「アーメン」と唱和して下さい。

● **〈頌栄〉** 神の栄光をたたえる短い讃美歌です。頌栄の後、黙祷をささげます。オルガン後奏は「派遣」の意を込めて皆さんの退場時に奏します。一〇時二五分が礼拝終了の目安です。

キリスト教大学の 特質



院 長 倉 松 功

なぜ大学で礼拝がなされ、キリスト教があるのか、その問いに対して第一にいわねばならないのは、大学の歴史と礼拝、キリスト教とは不可分の関係であったということです。大学は十二世紀の終わりに始まり、八百年以上の歴史を持つものです。その大学の歴史の本流に立っている

大学は、礼拝を行い、キリスト教を行ってきています。なぜこれらの大学では礼拝を守ってきたのでしょうか。それは、これら欧米の代表的大学が目指している目的、建学の精神と密接に関係しており

ます。いいかえれば、礼拝はそれらの大学がどのような人間を形成したいか、どのように、何にむかって学生を教育しようとしていたかに関係していたのです。別な言葉でいいますと、礼拝は大学における教養、人間形成に関係しているのです。

大学における人間形成は、普通には、サイエンス——学問、科学——の研究と教育によってなされます。サイエンスによって人間が形成され、培われ、耕される、すなわち、カルチャーされるということが大学である、と一般には考

えられております。しかし、大学の歴史の本流にある大学は、カルチャー（人間形成・教養）をどのように考えたただけではありませんでした。実は、カルチャーという言葉そのものが、たんに、サイエンスによる人間形成という意味ではないのです。culture の語源 *cult*、これは礼拝という意味です。カルチャーを重んじる大学は、大学で礼拝をしてきたのです。大学の歴史の本流にある大学としての象徴が礼拝であったということが出来ます。

学問と礼拝、あるいはキリスト教による（カルチャー）、人間形成、教養を求めている大学は日本では多くありません。しかし、著名な欧米の大学は礼拝を重んじています。世界の大学の本流、

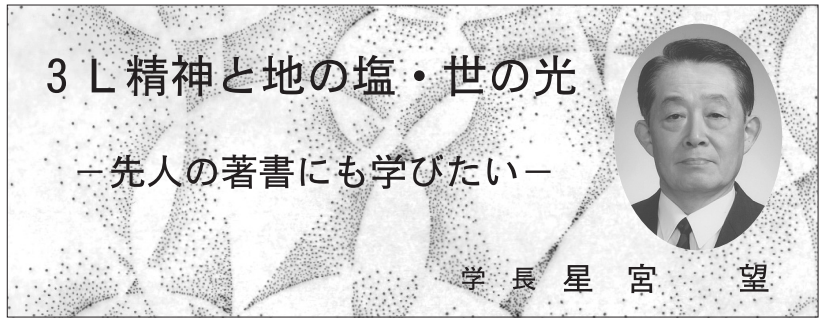


土樋キャンパス本館

世界的大学・文化の本流で、はばたくことを志すものにとつて礼拝は欠くことができないのです。

それでは大学では、どんな礼拝がなされるべきでしょう。

が的確な訳といえるでしょう。私たちの大学の礼拝は、反理性的・非理性的な礼拝であってはならないでしょう。しかし、宗教的礼拝として理性を越えるようなものを持っていなければなりません。その礼拝において、何がなされるのでしょうか。聖書が続けて記しているように、「何が神のみ心で善いこと、神に喜ばれ、また完全なものであるかをわきまえるようになる」ことが行われるのです。善悪の価値、未知なこと、まだ知らない、非経験なこと、超越者なる神、キリストに出会う礼拝を体験したいものと思えます。またそのように私を新しく変えてくれるような力のある言葉が聖書であります。他方そのような聖書とそれによって培われたキリスト教の歴史と文化について学ぶのがキリスト教学なのです。



学 長 星 宮 望

東北学院はキリスト教を土台として創立された学園です。東北学院の創立者として、押川方義先生、ホーイ先生、シュネーダー先生の三人の校祖の

先生方が本学を創立・成長させた心に近づきたいと思えます。その心を表しているものの一つが、「LIFE, LIGHT, LOVE」という言葉です。これは、私が、一九五〇年代から一九六〇年頃にかけて、東北学院中学校・高等学校に通っていたときの東二番丁の校舎に掲げられていた言葉でありますし、そのルーツを探れば、一九二二年（大正十一年）の仙台大火災の後に再建された東北学院中部の新校舎の正面入り口に掲げられていた言葉です。その時以来、東北学院スピリットを象徴する3L精神として親しまれてきております。この3L精神と同様に、長年、東北学院の在校生・卒業生に大切にされてきた聖書の言葉に「地の塩・世の光」があります。これは、新約聖書マタイ福音書五章一三〜一六節に記されている言葉です。

私は、東北学院中学・高等学校での六年間の毎朝の礼拝を通して多くのことを学びましたが、その中でも最も心に深くしみているのがこの「地の塩、世の光」です。その後、大学生の頃に、このことに関する一冊の本に出会いました。それは、内村鑑三著「後世への最大遺物」という薄い冊子です。これは、明治二十七年に箱根で開催されたキリスト教徒夏期学校での講話をまとめたもので、その後長い間読み続けられています。岩波文庫に収録されておりまして、今ではインターネットで検索しても見ることが出来ます。

内村鑑三は、後世に残すこととして、まず金をとりあげ、例えばフィラデルフィアのジョラードという人が世界一の孤児院を残した話をしています。そして、次にはいくつかの土木事業や治水事業などについて

でも触れています。そして次には、文筆や教育についての世に良いものを残すことを述べています。いずれについても大変示唆にとんだ話がつぎきます。しかし、最後に内村鑑三が強調したことは、これらにのいずれでもなく、「勇ましい高尚なる生涯」が後世への最大遺物であって、これは誰にとっても可能なことであるといっています。その一つの例として、トーマス・カーライルが有名な「フランス革命史」を書いたときの逸話を紹介しています。彼が、長年の歴史の研究を凝らし、広く材料を集めてようやく書き上げた原稿を友人に貸したところ、その友人が明け方まで読んで寝入っている間に朝早くきてストーブの火をつけにきた下女がその原稿を燃やしてしまったということでした。そのことを聞いたカーライルは腹を立てたことは当然ですが失望のあまり十日ばかりぼんやりとして何もしなかったそうです。しかし、彼のえらかったところは、「実にそのことで失望するような人間が書いた『革命史』を社会に出しても役に立たぬ。それゆえにもう一度書き直せ」と自分を鼓舞して再び長い時間をかけて「フランス革命史」を書き上げたということでした。このような高尚な生涯を送った人がいることを覚えたいと思います。

東北学院大学では、毎朝の学校礼拝を重視しています。聖書から学び、教職員の先輩からの言葉に耳を傾けていただきたいと思えます。そして、内村鑑三をはじめとする、優れた先人たちの語りかけにふれるための読書をも薦めます。

キリスト教文化研究所所長から

新入生へのメッセージ



西 谷 幸 介

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。「キリスト教文化研究所」について、まずその概要から説明いたします。本研究所は、一九五七年に設置されて以来「キリスト教研究所」という

名称で親しまれておりました。が近年、「キリスト教文化研究所」と改称し、キリスト教文化の研究並びに発表、その他これに付帯する事業の更なる充実を図っております。

主な研究・活動としては、①キリスト教文化の研究・指導・調査、②キリスト教文化に関する文献および資料の蒐集、③定期刊行物『キリスト教研究所紀要』（一九八三年に創刊）の発行、④学術講演会、公開講座「キリスト教文化講

座」、また「学内フォーラム」の開催などがあげられます。本研究所の学術講演・公開講座は、大学の豊富な学業績と知的財産を地域社会にも提供するものです。開催日は十一月中旬もしくは下旬です。公開講座「キリスト教文化講座」については、新しい世紀、二十一世紀において、世界は諸民族・国家の相互理

解と協調の時代に入ることはいやうまでもありません。そこで、各民族、国家の歴史・文化、とりわけその背景となっている宗教を一層深く理解することが必要となります。本



スタンドグラス
(土樋キャンパス礼拝堂)

以上が、本研究所の活動の内容ですが、新入生の皆さんが「キ文研」にも気楽に立ち寄っていただき、さまざまなキリスト教関係の雑誌や書類など手に取って一読されることをおすすめします。より深くまた高いレベルの研究に触れていただくことから、皆さん自身の大学での研究の道が開かれるかもしれません。

以上紹介したプログラムには学生の皆さんが参加できます。お知らせなどを見て、積極的に参加してみてください。

学術講演会は本学の最も伝統のある講演会の一つで、一九六二年に第一回を実施して以来、わが国を代表する学者を迎えて開催しており、国内外から高い評価を得ていま

す。開催日は十一月中旬もしくは下旬です。公開講座「キリスト教文化講座」については、新しい世紀、二十一世紀において、世界は諸民族・国家の相互理

解と協調の時代に入ることはいやうまでもありません。そこで、各民族、国家の歴史・文化、とりわけその背景となっている宗教を一層深く理解することが必要となります。本

スプリング・カレッジ について

宗教部副部長
野村 信

本学に入学してきた学生たちの中で、キリスト教推薦の学生たちを対象に、四月中の土曜日の午後に、毎年「スプリング・カレッジ」を行っています。一見、「スプリング・カレッジ」という言葉を始めて耳にする人は、春に行われる大学の講義と思うかもしれませんが、宗教部主催の半日のオリエンテーションです。今年第九回目です。参加

した学生たちと宗教部の先生たちや職員たちが一緒に礼拝をし、自己紹介や親睦、短い学びの時をもちます。本学の建学の精神であるキリスト教について理解を深め、また学内の宗教活動の紹介などもします。



第8回 スプリング・カレッジ

プログラムの中に茶話会があります。ここではすぐに打ち解けて、親しい仲間が出来ます。

この行事は、一般学生を対

象としていませんが、夏休みの最初に二泊三日で行われる「サマー・カレッジ」は、誰でも参加することができます。「サマー・カレッジ」は、半日で行う「スプリング・カレッジ」の拡大判のようなものです。一般の学生は、是非こちらに奮って参加してください。

サマー・カレッジのプログラム(昨年度)

時間	7月31日(木)	8月1日(金)	8月2日(土)	時間
		早天礼	拜	7:30
		朝	食	8
			チェック・アウト	9
		発題	聖書講義	10
		グループ懇談	反省会	11
		(二つの講演と	閉会礼拝	
		発題をめぐって)	昼食	12
12	泉出發	昼食	出	13
13	(集合・受付11時30分)		到着	
14	土橋出發	テーマ別グループ懇談会		
	(集合・受付12時30分)	(1)ボスヘル・フォークを歌おう		
15	開会礼拝	(2)野外散策		
16	主 題 講 演	自由時間		
17	チェック・イン	夕食		
18	友達になろう	夕食		
19	夕食	発題	質疑の陣(キャンドルサービス)	
20	発題	晩		
21	晩			

サマー・カレッジ

// 語らいの中で
学びの中で
新しい発見を! //



宗教部副部長
兩 貝 行 磨

夏休みに入ってから、友人と先生方と二泊三日を共に過

ごしませんか。同じ世代でも日常の会話では話題にならないこと、いや、信仰のこと、教会生活のこと、将活のこみませんか。

来の方など、少し、心の扉を開けて話ませんか。先生方の話も、講義ではできない、しかし、多面的で、整頓はしていない、しかし、今考えていることなど、断片的であっても真剣なことなどを聞くことができます。

信仰、教会生活、進路、将来性、いろいろと悩みが生まれたということは、自分自身で考えはじめたということですよ。実存的な課題といたことがあります。この機会を利用して、少し大きくなるための、小さな一日をもって

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。
 大学生としての歩みがいよいよ始まりです。

泉キャンパス



長 義之
 泉 永井

高校までの間、さまざまな制約があつてなしえなかったことをこれからはやるぞと意気込んでおられることと思います。是非、自分の頭で考え、自分らしいスタイルを確立していただきたいと思

ます。大学はそのような生き方をするのに適した環境です。受験体制の中ではあまり考えることがなかったこと、たとえば古典的テーマである、人生とは何かとか、人間とは何者かとか、世界とか等々考えはじめればいくら時間があっても足りない大問題が次々

と思ひ浮かぶことでしょう。大学での諸設備、教師や友人とのかわりなどを大いに利用して自分という人間を確立する充実した大学生活を送られるように声援をしたいと思

東北学院大学工学部へ入学した新入生のみなさん、入学おめでとう。

多賀城キャンパス



長 信
 野村

桜の満開の多賀城キャンパスで、整った施設を用いて大いに勉強し、友と語らい、青春を楽しんでください。

また新学年に進級した在校生も、この時期は、フレッシュな気分でごしていると思

ます。最初に抱いた良い志を継続させて、それぞれの目標に前進してください。

さて、私は、多賀城キャンパスの宗教活動を担当しています。よろしくお願

みなさんと接する機会があると思ひます。午前の礼拝を担当し、また火曜日は、お昼に聖書研究会があります。午後は、カウンセリングを行います。気軽に尋ねてください。

各キャンパスのメッセージ

土樋キャンパス



宗教部副部長
 原口 尚彰

四月になり土樋キャンパスも新年度の授業が始まりました。三年生の人たちは、専門の勉強がいよいよ本格化します。四年生の人々の多くの人たちは、就職活動や大学院進学準備、卒論作成の準備に取り組むこととなります。

土樋キャンパスでの二年間は、大学で学ぶことの仕上げをするときです。皆さんにとって、東北学院というキリスト教主義大学では学ぶことの意味は何でしょうか？宗教部では、毎日の礼拝、毎週の聖書研究等の聖書を学ぶ場を提供

しています。忙しい日常の間の中で、勉学の営みを一時停止して、聖書の言葉に聞き、自分自身について反省する時間は、キャンパスにおける魂のオアシスとも言ふべきものでしょう。また、私達は十月の特別伝道礼拝や十二月のクリスマス礼拝などの特別行事を計画し、学問と信仰について考える時を用意しています。これらの学びの場を活用して、これからの長い人生を生きていく糧として下さい。

הקמה תורה ודברו וישף על פני תהום ורחם אלהים מרחם
הקמים: 3 ויאמר אלהים יהי אור ויהי אור: 4 וברא
האור כייסוב ויבדל אלהים בין האור ובין החושך
אלהים לאור אום וישף קרא ללילה והיה ערב היה
אמר: 5 ויאמר אלהים יהי רקיע בתוך המים
7 בין מים למים: 7 וישש אלהים את הרקיע ויבדל בין
8 מסתחם לרקיע ובין המים אשר מעל לרקיע ויהיה בין
אלהים לרקיע שמים והיה ערב והיה בקר וים שמי
9 ויאמר אלהים יקוה המים מסתחם השמים אל המקום:
10 והקצה תהיה קו: 10 ויקרא אלהים ללשמה ארץ ויל
11 קרא המים ויקרא אלהים כייסוב: 11 ויאמר אלהים תן
ישש עשבי מוריש זרע עיזי פרי עשה פרי למימי אר

キリスト教 Q & A

1 *Ἐν ἀρχῇ ἦν ὁ λόγος, καὶ ὁ λόγος
καὶ θεὸς ἦν ὁ λόγος. 2 οὗτος ἦν ἐ
3 πάντα δι' αὐτοῦ ἐγένετο, καὶ χωρ
ἔν. 4 ὁ γέγονεν. 4 ἐν αὐτῷ ζῶη
φῶς τῶν ἀνθρώπων. 5 καὶ τὸ φῶ
καὶ ἡ σκοτία αὐτὸ οὐ κατέλαβεν.
6 Ἐγένετο ἄνθρωπος 6 ἀπεσταλμ
αὐτῷ Ἰωάννης. 7 οὗτος ἦλθεν ἐκ
τυρῆση περὶ τοῦ φωτός, ἵνα πάντες
8 οὐκ ἦν ἐκεῖνος τὸ φῶς, ἀλλ' ἵνα
φωτός. 9 Ἦν τὸ φῶς τὸ ἀληθιν
ἄνθρωπον, 9 ἐρχόμενον εἰς τὸν κόσ
ἦν, καὶ ὁ κόσμος δι' αὐτοῦ ἐγένετο
οὐκ ἔγνω. 11 εἰς τὰ ἴδια ἔβλεπ*

**Q 東北学院大学の
ルーツはどこ？**

十六世紀の宗教改革によつて生まれたプロテスタント信仰を持つ多くの人々は、十七世紀にアメリカ新大陸に移住しました。その中のドイツ系移民たちは、ウィリアム・ベニア州に集中的に定住しました。そこで、特に改革派の流れを汲む者たちが「ドイツ改革派教会」（十八世紀）を設立したのです。彼らの信仰は、ウルジヌスとオレヴィアヌスの著した『ハイデルベルク信仰問答』（一五六二年）に表明されています。十九世紀に創設された小さな教派神学校は、やがて、ランカスターのフランクリン&マッシュャル大学や神学校へ成長し、また、その同じ幹からカレッジビルのアーサイナス (Ursinus)



多賀城キャンパス礼拝堂

大学が生まれたのです。かつて、東北学院大学の創立に加わったW・E・ホーイやD・B・シュネーダーは、ランカスターで学んだドイツ改革派教会の宣教師たちでした。これらの学校と東北学院大学は、同じ伝統を共有する姉妹校として今でも交流があります。
(佐々木哲夫)

**Q キリスト教は
なぜ必修なの？**

東北学院大学へ入学した皆さんが、毎日の大学礼拝に出席し、キリスト教を学ぶことは、東北学院大学の学生であることの証しであり、またこれを前提条件として大学に入学してこられたのです。そこで、キリスト教が必修なのは、本学の方針であるところと、説明できます。しかし、二番目に、なぜキリスト教が必修なのかは、もっと基本的な理由があります。そもそも日本の教育制度は、明治維新の後に、キリスト教の世界から産み出された西洋近代教育を学び、これを採用してきましたので、この教育制度の生みの親たるキリスト教について学ぶことは、教育、学問の根底をなす学びである

と説明できます。私達の人生と社会の根本に神との関係によって理解され、

産み出されてきた様々な制度や構造があることに気づいているでしょうか。例えば、法治国家としての規律、秩序、契約という概念や、さらに民主主義や資本主義、教育制度、医療・福祉制度、あらゆる領域がキリスト教世界から生み出されて発展してきたものであることを否定することができないのです。そこで、私たちは、広くキリスト教の教えとその世界観を学ぶことによって、私たち自身と現代社会を豊かに学ぶことができるのです。そういう点で、皆さんも、このような視点から礼拝を重んじ、キリスト教を積極的に学んでいって欲しいと思います。
(野村 信)

Q 礼拝でマークシートを配るのは何のため?

東北学院大学の高等教育機関としての営みは、人間の知恵や力量だけでなく、神の愛とめぐみによって導かれていると認識されています。そのような自己認識は、大学設置の基本理念であり、また、東北学院創立一七七年の歴史と伝統の中で保持されてきた建学の理念です。大学礼拝は、そのような東北学院大学固有の価値観、換言するならば、東北学院の建学の精神を具体化する公の行事です。しかも、礼拝は、仙台神学校創立以来、毎日行われる営みの一つに位置づけられてきました。

し、教育機関としての責任があります。また、東北学院大学の学生は、大学礼拝に参加するはずであると期待されています。即ち、大学礼拝に参加することは、東北学院大学の学生の特権であり、また、東北学院のアイデンティティそのものなのです。

東北学院大学は、大学礼拝に対し無関心ではありません。見いだした価値にふさわしく、私達の熱情や努力を捧げたいと願っています。それ故、今、どのような大学礼拝が行なわれているかをきちんと把握すること、例えば、マークシートをもって大学礼拝の現況を把握することは、自己評価の責任を果たす第一歩であると考えております。皆さんの大学礼拝への参与は、見過ごされるのではなく、確かに覚えられるものなのです。

(佐々木哲夫)

2004年度 宗教部の活動予定

通 年

- 大学礼拝
 - 礼拝(朝) 土樋・泉・多賀城キャンパス 月～土曜日
 - 礼拝(夜) 土樋キャンパス 毎週水曜日
 - 教職員礼拝 泉キャンパス 前期2回 後期1回
- 寄宿舎礼拝
 - 泉男子寄宿舎 毎週月曜日
 - 泉女子寄宿舎・旭ヶ岡寄宿舎 毎週火曜日
- 聖書研究会
 - 土樋・泉・多賀城の各キャンパス
- 4月 チャペルニュース第88号(新入生歓迎号)発行、キリスト教活動のハンドブック発行
第9回スプリングカレッジ(17日)
- 5月 春季宗教教育強調週間特別伝道礼拝
- 6月 チャペルニュース第89号(春季特別伝道礼拝特集号)発行
- 7月 第30回サマーカレッジI(27日～29日)
- 8月 第30回サマーカレッジII(3日～4日)
- 9月 第50回教職員修養会(1日～2日)
- 10月 秋季宗教教育強調週間特別伝道礼拝
- 11月 チャペルニュース第90号(サマー・カレッジ、秋季特別伝道礼拝特集号)発行
オートタムカレッジ
- 12月 チャペルニュース第91号(クリスマス特集号)発行
泉キャンパス公開クリスマス(3日)、大学クリスマス

2005年

- 1月 第9回キリスト者教員研修会(8日)
- 2月 礼拝オルガニスト懇談会、礼拝司会者(牧師・宣教師)懇談会
- 3月 大学礼拝説教集発行

2004年度 礼拝オルガニストの皆さん

- 東北学院大学オルガニスト
今井奈緒子
- 東北学院大学礼拝オルガニスト
- 赤澤喜代子 京極扶美恵
 - 阿部 和子 佐々木しのぶ
 - 稲垣 玲子 鈴木有紀子
 - 大泉 真理 高橋 園子
 - 亀井 渡子 長谷部真理子
 - 渡辺 真理 坂上美美恵
 - 宮川 淑子



● 編集後記 ●

何事も最初のときは新鮮で、わくわくする気分になるものです。新入生の皆さん、ご入学おめでとう。これから大学生活が実り豊かになるかどうかは、これから皆さんがどう過ごすかにかかっています。初心を忘れず、今の思いを継続してほしい。(NA)